

総選挙
に向け

共通政策作成で一致

「市民連合」と4野党が確認



「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合」(市民連合)に参加する諸団体と、日本共産党、民進党、自由党、社民党の4野党との意見交換会が11月17日、国会内で開かれました(上写真)。昨年10月から今年7月の参院選に向けて4度行われ、参院選後は初めて。総選挙に向けて、豊かで魅力ある共通政策を市民と野党双方が力をあわせてつくっていくことで一致しました。今後、月1回をめぐりに意見交換会を開催することを確認しました。

魅力ある政策、相互支援、政権合意が必要

意見交換会で 共産党・小池書記局長強調

日本共産党の小池晃書記局長は、7月の参院選の全32の1人区で野党統一候補が実現し、11選挙区で勝利したことについて、「市民と野党の共闘の力が発揮されたものであり、その上で市民連合が大きな役割を果たしたことに心からお礼を申し上げたい」と表明しました。

◆新潟知事選での勝利の要因は何か

また、「参院選後も新潟県知事選では非常にいい形で共闘ができました。その教訓は、政策的な打ち出しが非常に分かりやすく、大義の旗が立ち、本気の共闘ができあがったことです」と強調し、その教訓を生かして総選挙では豊かで魅力ある共通政策づくりが必要だと述べました。さらに、総選挙での選挙協力について「相互支援・相互推薦の形にしていくこと、そして政権問題で前向きな合意をつくっていくことが必要です」と語りました。

市民と野党の共同でアベ暴走ストップ!!

総選挙にむけ市民と野党の連携が確認されたことは重要です。「駆け付け警護」閣議決定や、TPP強行、原発再稼働など国民を無視して暴走する安倍政権を、市民と野党の共同でストップさせましょう。



参議院議員(東京選挙区選出)
弁護士 やまぞえたく

山 添 拓

東京
民報

ご意見・ご要望は 03-3370-0311、FAX 03-3370-0471

2016年11月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。

発行/東京民報社(港区芝1-4-9 平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可

日本共産党